

科目名	くらしと金融(金融論)		担当者名	岡田裕二(オカダユウジ)	
開講年次	2	開講時期	前期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	必修	単位数	2
ナンバリング	C0030	該当DP	DP2,DP3		
授業概要	<p>皆さんがこれから社会に出て仕事を始める時に、避けて通れない課題がお金に関する事です。この講義では、まず金融の基礎を学んだ後に、銀行との付き合いかたとお金についての知恵を、全国銀行協会と金融経済教育推進機構が分かり易く解説した資料をもとに実践的に学びます。そして自分自身のこれからの未来予想図(ライフプラン)を描いてもらいます。</p>				
到達目標	<p>1. 新聞やテレビに出てくる金融に関する報道について、基本的に理解し家族や友人と話題にすることができるようになること。 2. 自分自身の将来を想像して、お金のことも考えたライフプランを語るができるようになること。</p>				
授業計画	回	授業内容		授業外学習(内容と時間)	
	1	基礎 お金と経済の動き 1 お金は経済の「血液」		教科書①第1章1～3予習復習	30分
	2	基礎 お金と経済の動き 2 金利はお金の値段 「バブル経済とは」		教科書①第1章4～7予習復習	30分
	3	基礎 金融の担い手たち 1 金融機関の果たす役割		教科書①第2章1～2予習復習	30分
	4	基礎 金融の担い手たち 2 お金を預かり、貸す 「リーマンショックとは」		教科書①第2章3予習復習	30分
	5	基礎 金融の担い手たち 3 銀行の基本業務		教科書①第2章4予習復習	30分
	6	基礎 金融の担い手たち 4 直接金融やリスクの担い手		教科書①第2章5～7予習復習	30分
	7	基礎 振り返り		教科書①第1章・第2章 復習	30分
	8	銀行との付き合いかた 1. お金の話		教科書②予習復習	30分
	9	銀行との付き合いかた 2. お金の運用		教科書②予習復習	30分
	10	銀行との付き合いかた 3. 未来予想図 4. 金融リスク		教科書②予習復習	30分
	11	人生とお金の知恵 1. お金の特徴 2. 収入を把握する 3. 支出を把握する		教科書③予習復習	30分
	12	人生とお金の知恵 4. お金の使い方 5. お金を貯める		教科書③予習復習	30分
	13	人生とお金の知恵 6. お金を運用する		教科書③予習復習	30分
	14	人生とお金の知恵 7. お金を借りる		教科書③予習復習	30分
	15	応用 振り返り		教科書①②③予習復習	60分
教科書	<p>①基礎 お金と経済の動き、金融の担い手たち：「金融入門<第3版>」(日本経済新聞社編) 日経文庫 ②「金融知識入門シリーズ」(全国銀行協会) ③大学生のための人生とお金の知恵(金融経済教育推進会議)</p>				
参考書	「金融読本(第31版)」(島村高嘉・中島真志著) 東洋経済新報社				
成績評価	方法	割合	備考		
	期末試験	60%	論述方式、返却はしません。		
	受講態度	40%	講師が授業中に出す問題に積極的に答えましょう。質問をしましょう。		
	中間確認テスト		中間で確認テストを実施します。未回答者は受講態度点を大きく減点します。		
	授業中の迷惑行為(下記4)		受講態度点を減点します。		
履修上の注意	<p>1. 目頃から、財政、金融、経済に関する新聞記事、TVニュースに興味を持って接するように心がけて下さい。 2. 教科書や配布資料に記載されていること以外の話題に触れることもあります。ノートを準備して下さい。 3. 教科書②はWEB上で配信されるデータです。C-learningの教材倉庫にurlを掲載しますので、各自スマホで開いて下さい。 4. 授業中の私語、居眠り、スマホ・携帯電話などの授業目的以外の操作は迷惑行為として厳禁します。</p>				
実務経験との関連	銀行勤務28年の経験がある。学生たちに経験を基にした実務的な講義をすることによって、金融リテラシー向上を図る。				
オフィスアワー		メールアドレス			